



日立ソフトのサービス事業に対する取り組み

2009年7月3日

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社



クラウド・コンピューティング

ITリソースはクラウドから

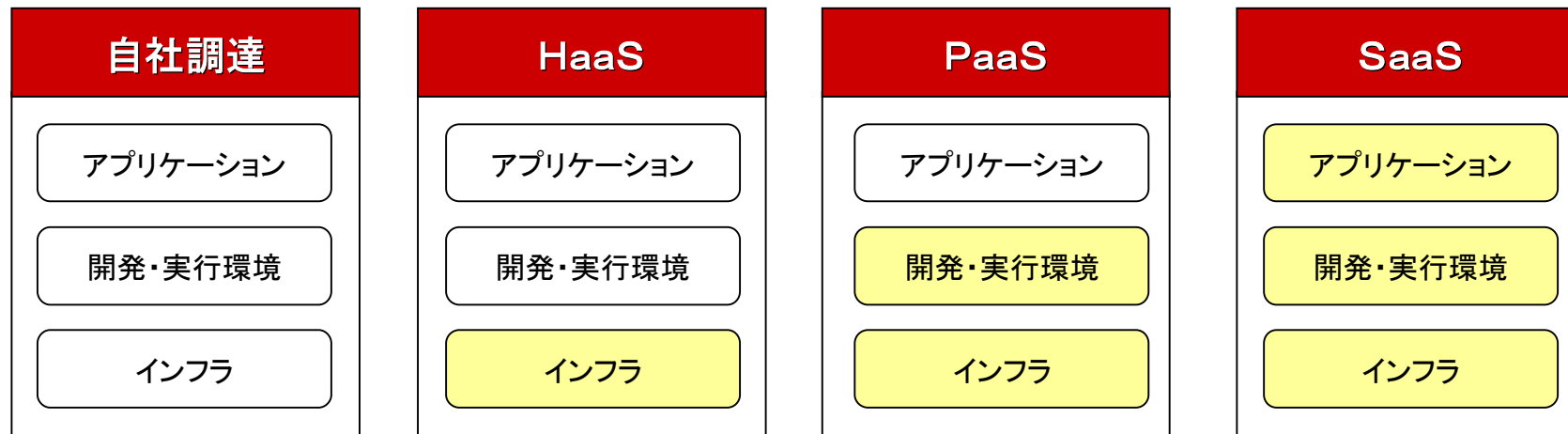


クラウド・コンピューティング

ITリソースはクラウドから



各クラウド・コンピューティングの比較



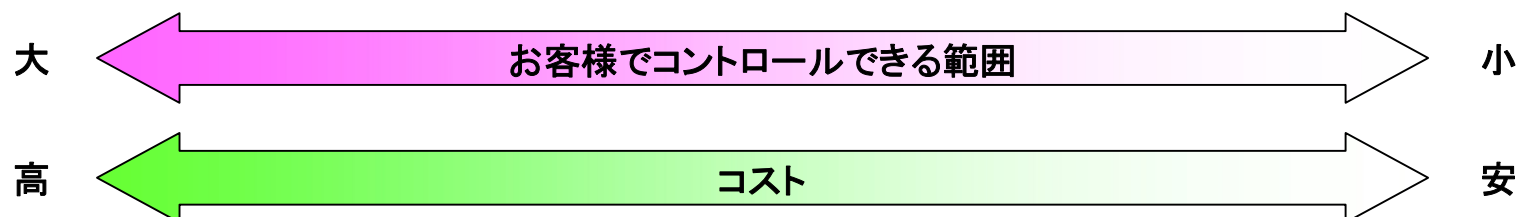
※ 部分がクラウド・コンピューティングで利用できる範囲

・お客様で全て所有。
・コスト大、運用負荷大

・開発・実行環境とアプリケーションは自社で準備

・お客様はアプリケーション開発に専念できる

・迅速な利用が可能
・アプリケーション開発、運用不要





クラウドとは(属性)

- ①企業(利用者)は、資産として(CAPEX)インフラを所有せず、契約期間のような契約上の制約なしに、**使用料(OPEX)としてインフラのコストを支払う。**
- ②**インフラ容量の増減は、ダイナミックに即座に行うことが出来、その点で従来型のホスティングサービスプロバイダと異なっている。**
- ③実際に使われるハードウェアの物理的な所在にとらわれることはない。
- ④アーキテクチャは抽象化されており、**複数のユーザがマルチテナントの形態でインフラを同時にアクセスする。**

Clearing the air on cloud computing
March 2009 McKinsey&Companyより

クラウドとは(属性)

①企業(利用者)は、資産として(CAPEX)インフラを所有せず、契約期間のような契約上の制約なしに、**使用料(OPEX)としてインフラのコストを支払う。**

②インフラの点で従来

① ITコスト削減

とが出来、そ
なっている。

③実際に使
はない。

② キャッシュフロー改善

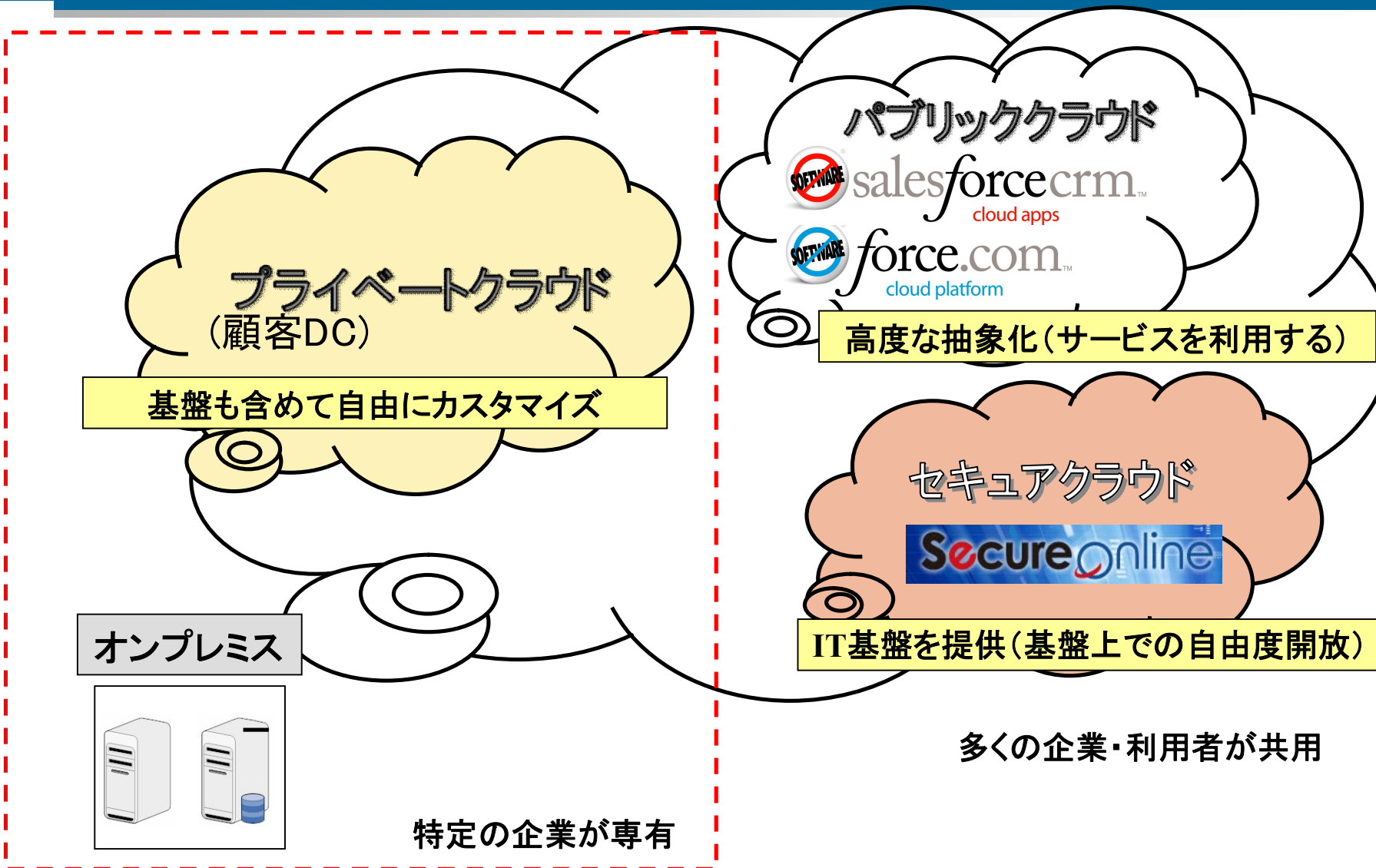
られること

③ 経営の機動性向上

④アーキテクチャは抽象化されており、**複数のユーザがマルチテナントの形態でインフラを同時にアクセスする。**

Clearing the air on cloud computing
March 2009 McKinsey&Companyより

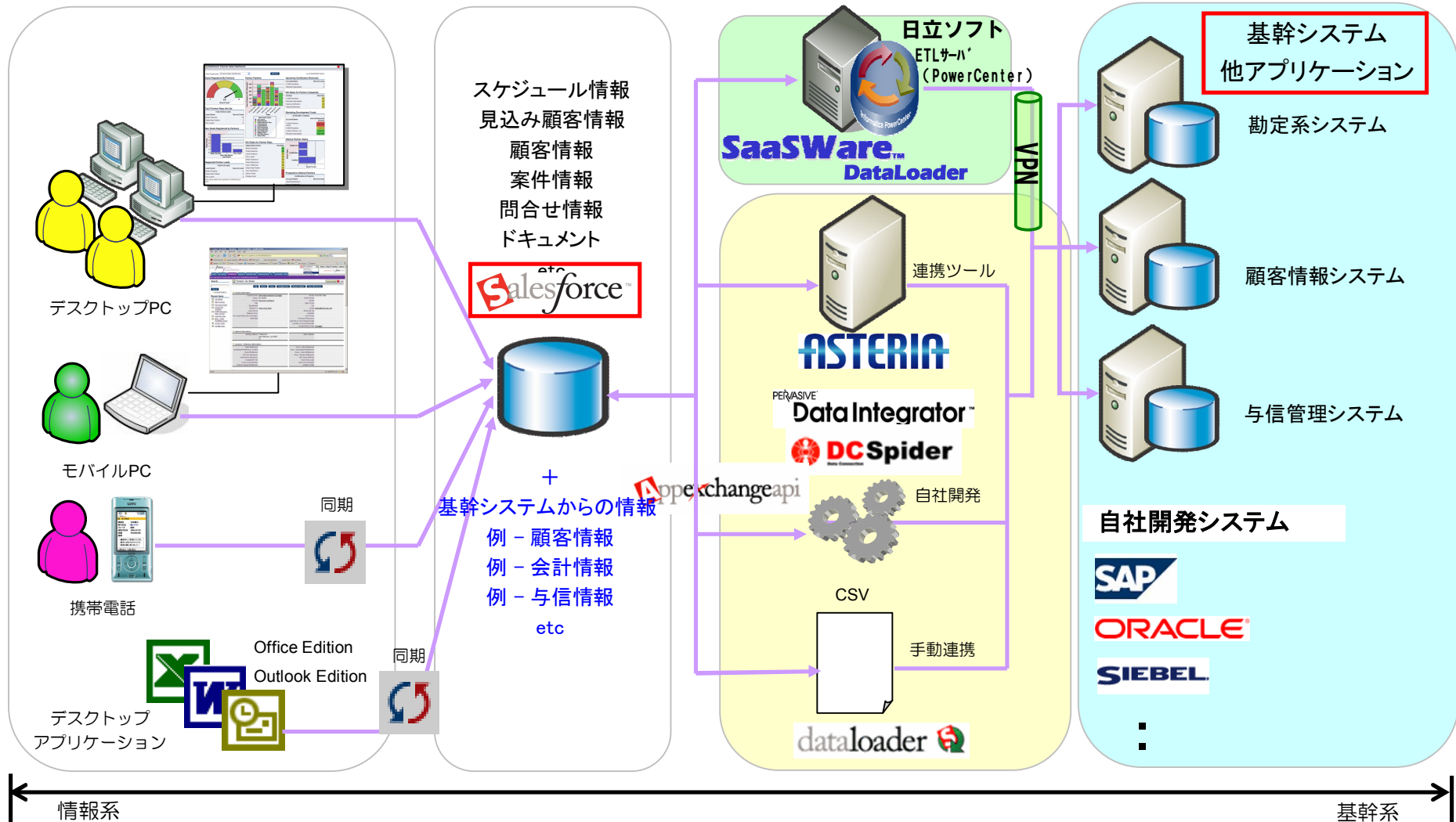
クラウドの種類



Salesforceと基幹システムの連携

パブリッククラウドで実現

セキュアクラウド、プライベートクラウドで実現
オンプレミスで実現



クラウドの使い分け

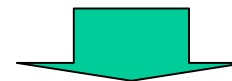


パブリック・クラウドである、Salesforceを活用したシステム提供事業

- ① SFA/CRM機能の活用
- ② 基盤部分だけを活用



- ① IT環境の月額提供
- ② 日立ソフト独自のサービスも提供
 - ・在宅勤務
 - ・Salesforce連携等



セキュアオンラインの仕組みをお客様にご提供

自由に運用していただけます

1. SFA/CRMのSaaS(アプリケーション)としてのSalesforce

SFA/CRMとして、評価の高いアプリケーションです。

これをベースに、自分に合わせたカスタマイズをすることができます。

随時(勝手に)バージョンアップしていくので、進化が期待できます。

良くできたアプリを、簡単操作でカスタマイズ

2. 独自アプリケーションの開発・実行基盤としてのSalesforce (Force.com)

SFA/CRMとは全く関係のないアプリケーションを独自に作成する基盤です。(安い)

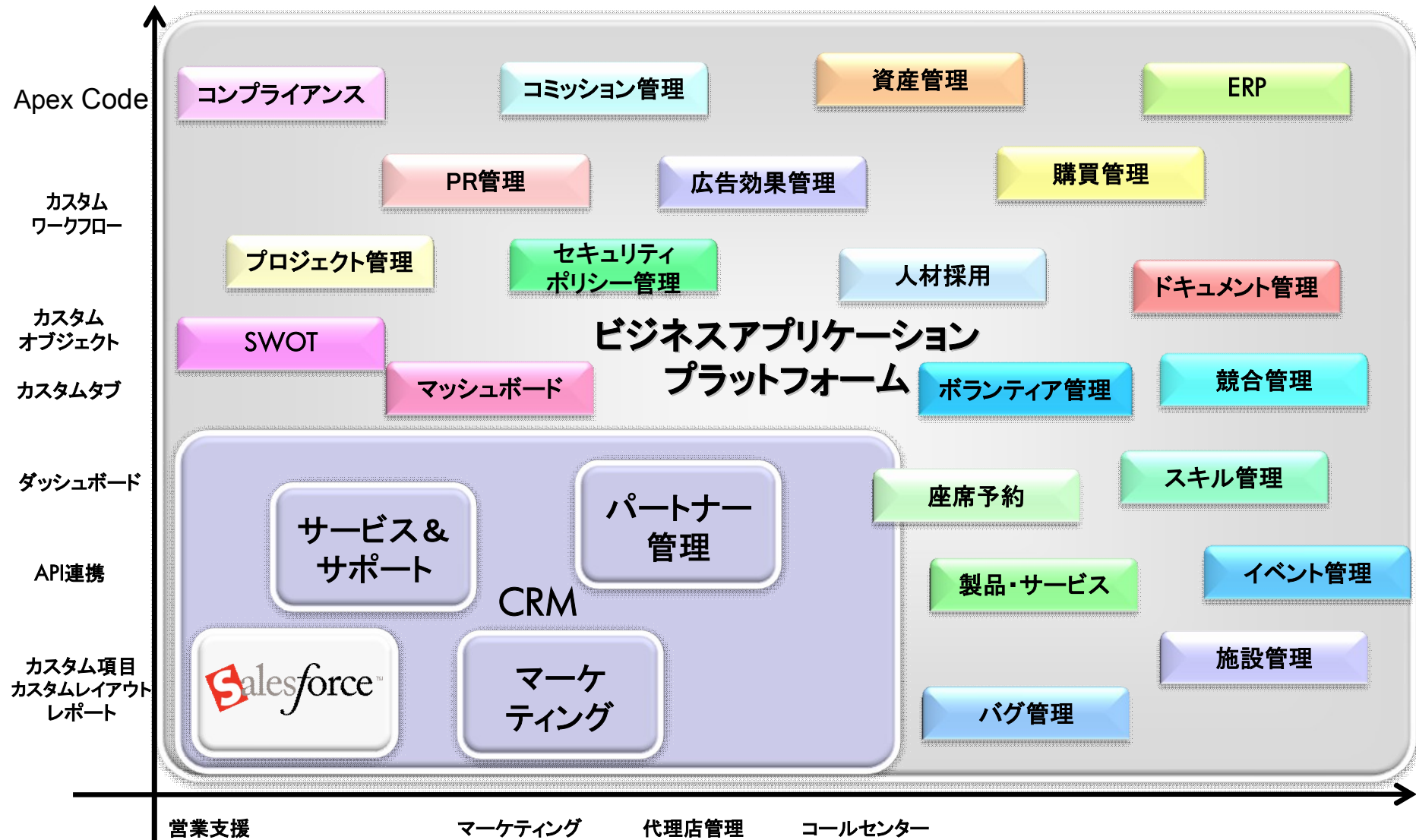
アプリケーション作りに必要な部品が豊富に用意されているので開発が楽にできます。

ハードウェアの心配も無用です。

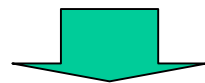
独自アプリを開発・実行

注:カスタマイズには、設定による簡易なもの、APIを使ってプログラミングする高度なものがあります。

Salesforce利用形態の例



クラウドの使い分け

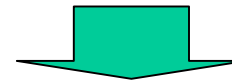


パブリック・クラウドである、Salesforceを活用したシステム提供事業

- ① SFA/CRM機能の活用
- ② 基盤部分だけを活用



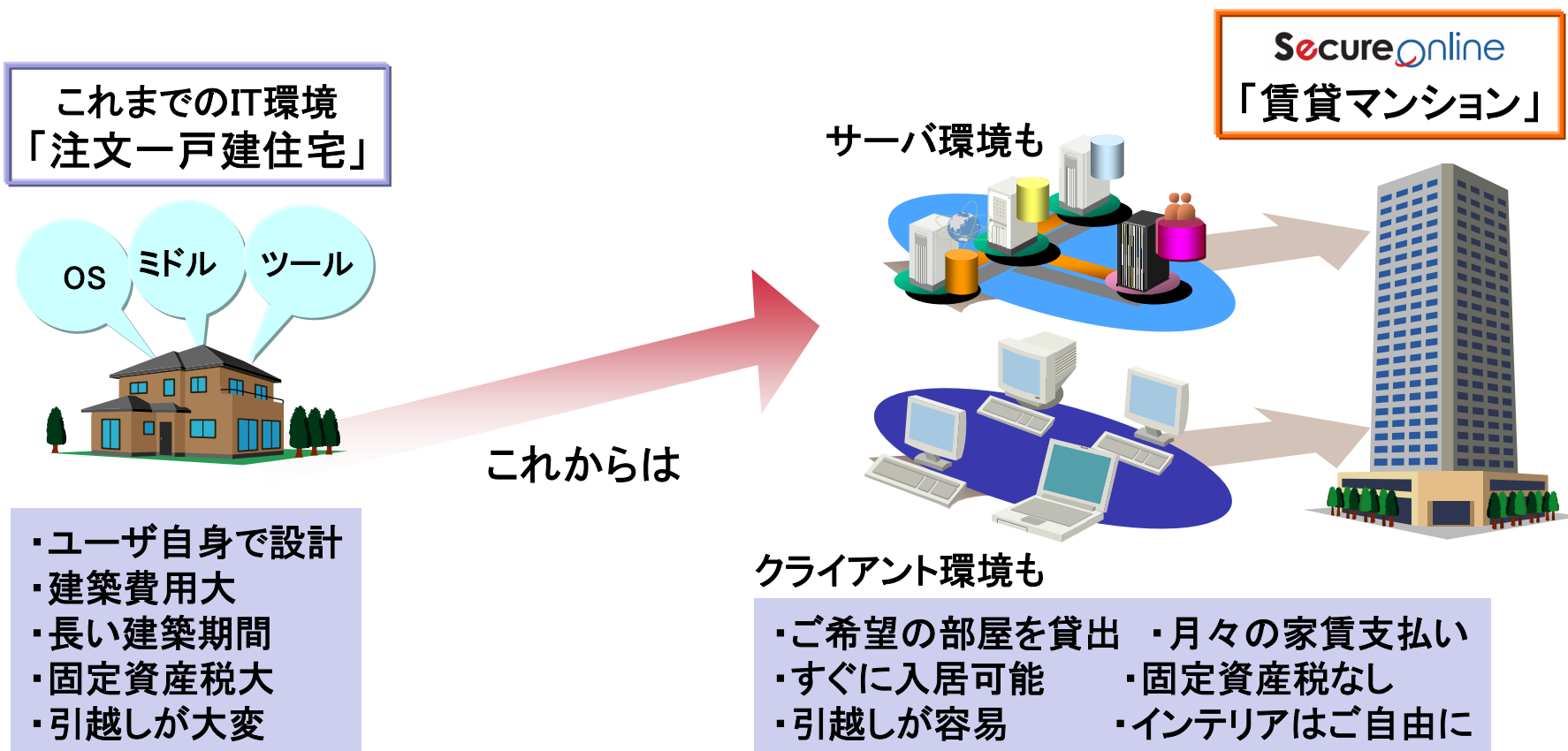
- ① IT環境の月額提供
- ② 日立ソフト独自のサービスも提供
- ・在宅勤務
- ・Salesforce連携等



セキュアオンラインの仕組みをお客様にご提供

自由に運用していただけます

SecureOnline統制IT基盤提供サービスでは、IT環境を月額にてご提供します。
購入による「**予算申請**～**折衝**～**予算確保**」「**資産管理**」「**減価償却**」「**修理**」
「**減却**・**廃棄**」など、面倒な手続きを大幅に軽減します。



メリット1 早い	<ul style="list-style-type: none">■ お申込みをいただいてから約1週間（最短3営業日）で利用可能。
メリット2 月額利用	<ul style="list-style-type: none">■ ご契約は月単位。不要時は直ぐに課金対象外。■ いつでもリソース拡張が可能なので、スモールスタートもOK。■ 購入ではなく利用するだけなので資産化対象外。
メリット3 低価格	<ul style="list-style-type: none">■ マルチテナントなので高価な環境が低価格で利用可能。
メリット4 安心環境	<ul style="list-style-type: none">■ お客様専用にごくクローズされたシステム環境を提供。■ ハードウェア、ネットワークは完全冗長化。
メリット5 高スペック	<ul style="list-style-type: none">■ 金融機関等で実績のあるエンタープライズシステム。■ 基幹LAN、SANは数ギガ～数十ギガでの高速接続。■ 数多くのトライアルから最適な組合せでのパラメタを設定。
メリット6 永住サポート	<ul style="list-style-type: none">■ 耐用年数超過による買い替え・廃棄の心配はSecureOnlineにお任せ。
メリット7 ワンストップ	<ul style="list-style-type: none">■ UP開発からインフラ、運用までITライフサイクルをトータルサポート。■ PDCAサイクルによる継続的な改善を支援。
メリット8 豊富な実績	<ul style="list-style-type: none">■ 100社以上のお客様によるご利用実績。■ 在宅勤務用途からASP/SaaS基盤、開発/本番環境、多数の実績。

メリットの項番に対応した詳細の説明

プロセス	購入の場合	SecureOnline
予算申請/ 予算確保(折衝)	必要	必要
構成確定	必要	必要
調達	必要	必要
ファシリティ確保	必要	不要
キitting	必要	不要
資産管理	必要	不要
障害対応/修理	必要	不要
減価償却	必要	不要
減却/廃棄	必要	不要

月額レンタルなので、
プロジェクト予算内での発注が可能

メニューから必要なリソースを
ベースモデルに追加するだけ

申込みから3営業日後には利用可能
突然の状況にもスピーディーに対応可能

資産化によって生じる
面倒な管理・手続きが一切不要！

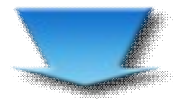
SecureOnlineに

お任せください！！

- ・プロジェクト終了後、不要となったIT環境は契約終了(資産として残らない)
- ・耐用年数超過による買い替え・廃棄の心配が不要

『LinuxとWindowsの開発環境をすぐに欲しい！』

コストメリット



統制IT基盤提供サービスの回答

早期着手

プロジェクトマネージャ権限で発注

契約から3営業日後に利用開始^(※)

お客様ネットワーク変更が不要^(※)

コストメリット

経費でサーバ・プロダクトを利用するため資産化が不要

利用した分の月払いのためイニシャルコストを削減

当社提供ライセンスとお客様所有ライセンスを混在利用

テクニカルサポート

マルチベンダサポート窓口を集約

(※)ネットワーク早期導入パックをご利用の場合

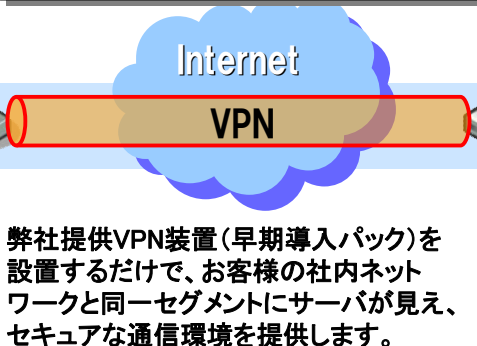
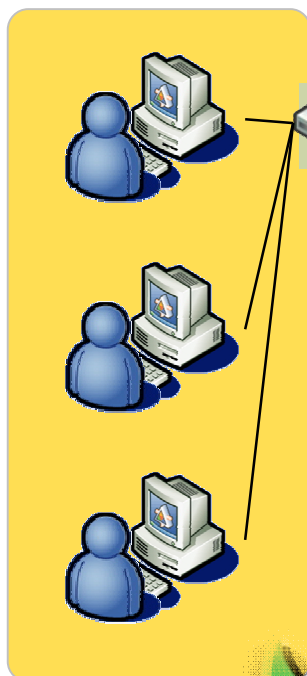
システム概要

すぐに(3日)、経費で
開発環境を用意できる

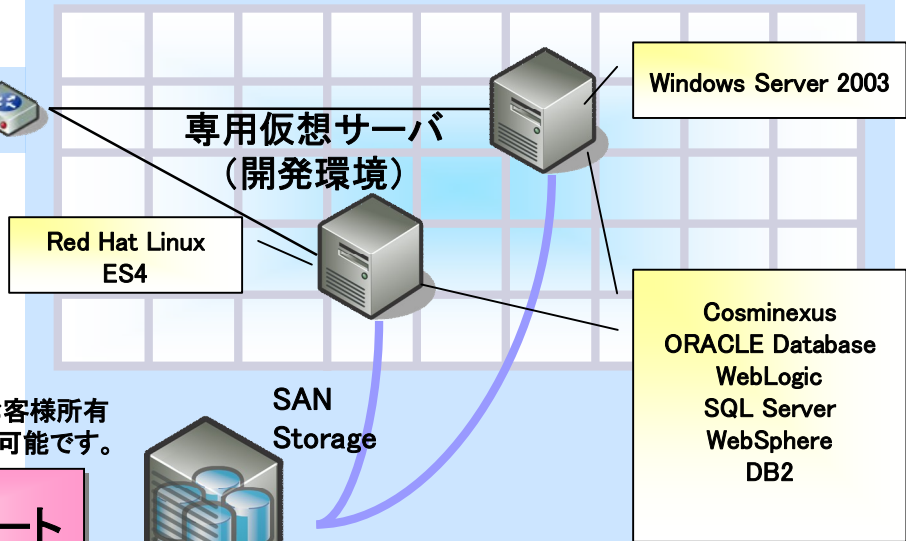
統制IT基盤提供サービス

コストメリット

お客様



VM提供エリア



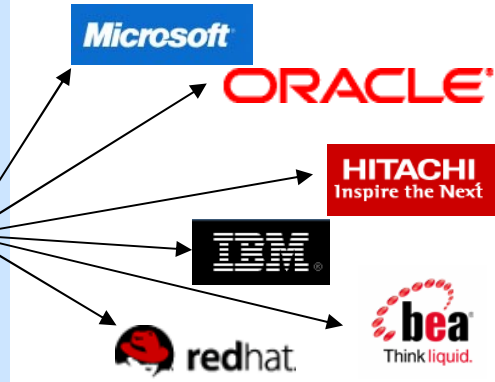
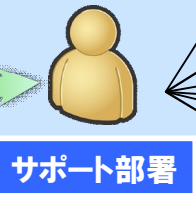
弊社提供の製品に加え、お客様所有の製品を、混在して利用が可能です。

マルチベンダのサポート
も一元化可能

お問合せ



異なるベンダーの製品でも弊社SERVICE24で一括で受付け、社内サポート部署が切り分けてベンダーへエスカレーションし、課題解決まで実施します。
※弊社提供の製品に限ります。



『開発協力会社とセキュアにファイルの受け渡しをしたい！』



統制IT基盤提供サービスの回答

セキュリティ

メール・媒体などによるデータ受け渡し排除
盗聴・誤送付・盗難・紛失の可能性低減

開発PCに情報を持つ必要がない
Winnyなどからの情報流出の可能性低減

互いのネットワークへの侵入禁止

早期着手

プロジェクトマネージャ権限で発注

契約から3営業日後に利用開始^(※)

お客様や協力会社様のネットワーク変更が不要^(※)

効率化

情報の集中管理が可能

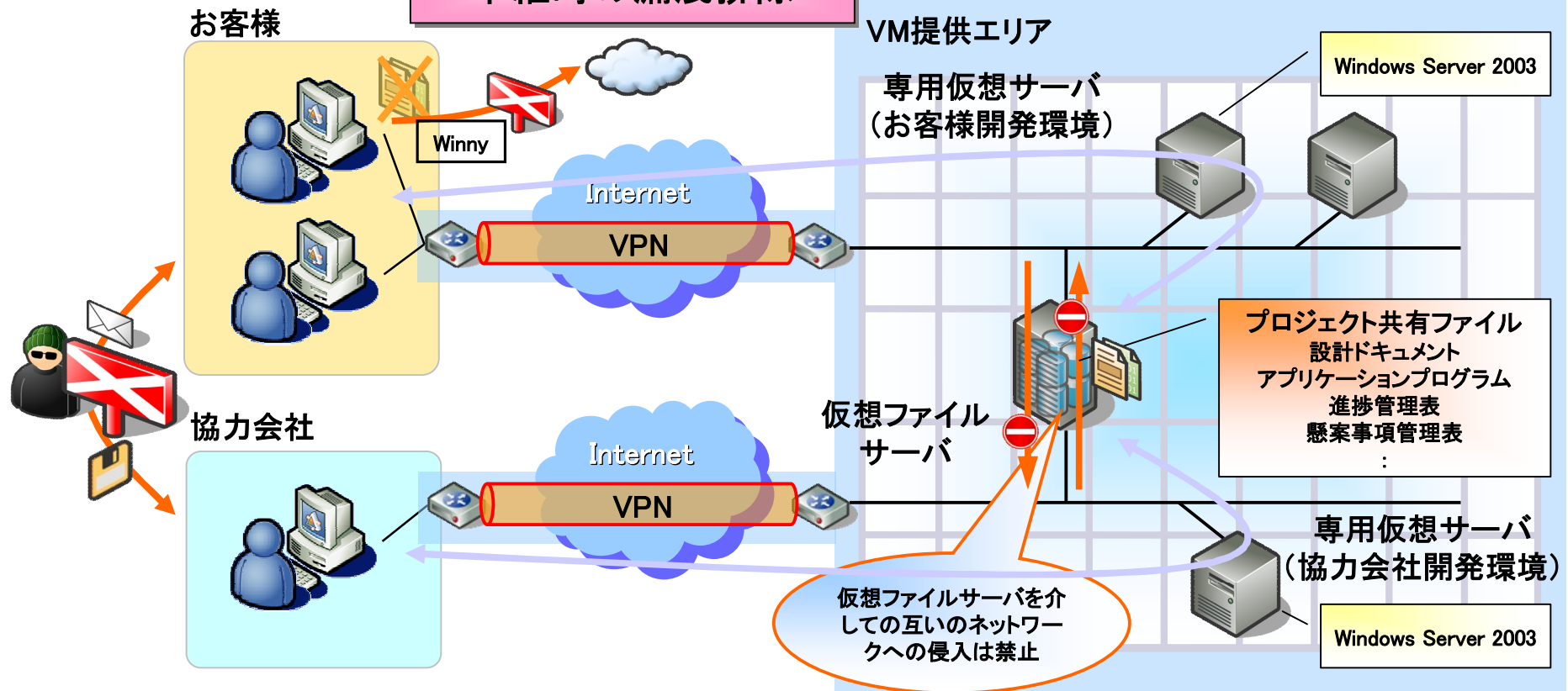
(※)ネットワーク早期導入パックをご利用の場合

システム概要

サーバ内にデータ集約
中継時の漏洩排除

統制IT基盤提供サービス

セキュリティ



メールや媒体による成果物の受け渡しでは、漏洩や紛失などの危険性が存在します。拠点間共通のファイルサーバを介した受け渡しにより、危険性が排除され、安全性が確保されます。また端末へのデータ保存も不要となり、Winnyなどからの漏洩の脅威も低減できます。

お客様や協力会社からは、自社用の専用仮想サーバと自社用の専用仮想サーバを介した仮想ファイルサーバのみ到達できます。仮想ファイルサーバを介して、他方のネットワークへの進入は禁止としています。

『一括外注を促進し、かつ、固定費を削減したい！』

セキュリティ



統制IT基盤提供サービスの回答

セキュリティ

開発ベンダのPCをシンクライアント化するソリューションもご提供、プログラムや開発ドキュメントはセンター内
にのみ存在(漏洩の危険性小)

法の遵守

お客様標準PC環境をセットアップして提供(統制可能)

コストメリット

持ち帰り開発の実現(偽装請負の余地なし)

ロケーションフリーによる付帯設備などのコスト削減

経費でPC・プロダクトを利用するため資産化が不要

利用した分の月払いのためイニシャルコストを削減

利用希望台数のピークに柔軟に対応

テクニカルサポート

マルチベンダサポート窓口を集約

システム概要

セキュア基盤の活用
持ち帰り開発促進

統制IT基盤提供サービス

セキュリティ

お客様

開発要員(開発ベンダ)用の必要コストをロケーションフリーで最小限化。
(PC、フロア、宿泊費など)

開発サーバ環境



Internet

専用仮想PC



資産管理
パッチ配布 統制された稼動監視 PC環境

不要になったら削除

追加要求に対しては masterをコピー

開発ベンダ様

シンクライアントソリューション

ベンダA社

シンクライアントソリューション

ベンダB社

データ交換、インストール、印刷禁止も可能

Winny

専用仮想サーバ
(開発ベンダ様用
独自開発環境)

開発ベンダ様独自の開発環境と、開発途中の成果物の保管庫としてご利用。

Windows Server 2003

各開発拠点(開発ベンダ様)はシンクライアントで仮想PCを利用するため、成果物はセンターに集約され、情報の漏洩の可能性を低下することができます。



異なるベンダーの製品でも弊社@SERVICE24で一括で受付け、課題解決まで実施します。
※弊社提供の製品に限ります。

売上げ増

『自社ソフトをSaaS (Software as a Service) 提供したい!』



統制IT基盤提供サービスの回答

早期導入

単一企業用ソフトウェアでもマルチテナントで提供可能

マルチテナント対応のエンハンス(改造)不要、そのまま顧客ごとの環境として提供可能

一度作成した環境をクローニング(コピー)するだけで、すぐに準備完了

コンピタンシー
上のメリット

納入用サーバ、OS、ミドルウェア等の手配、環境構築などソフトウェアベンダが苦手とする作業は不要

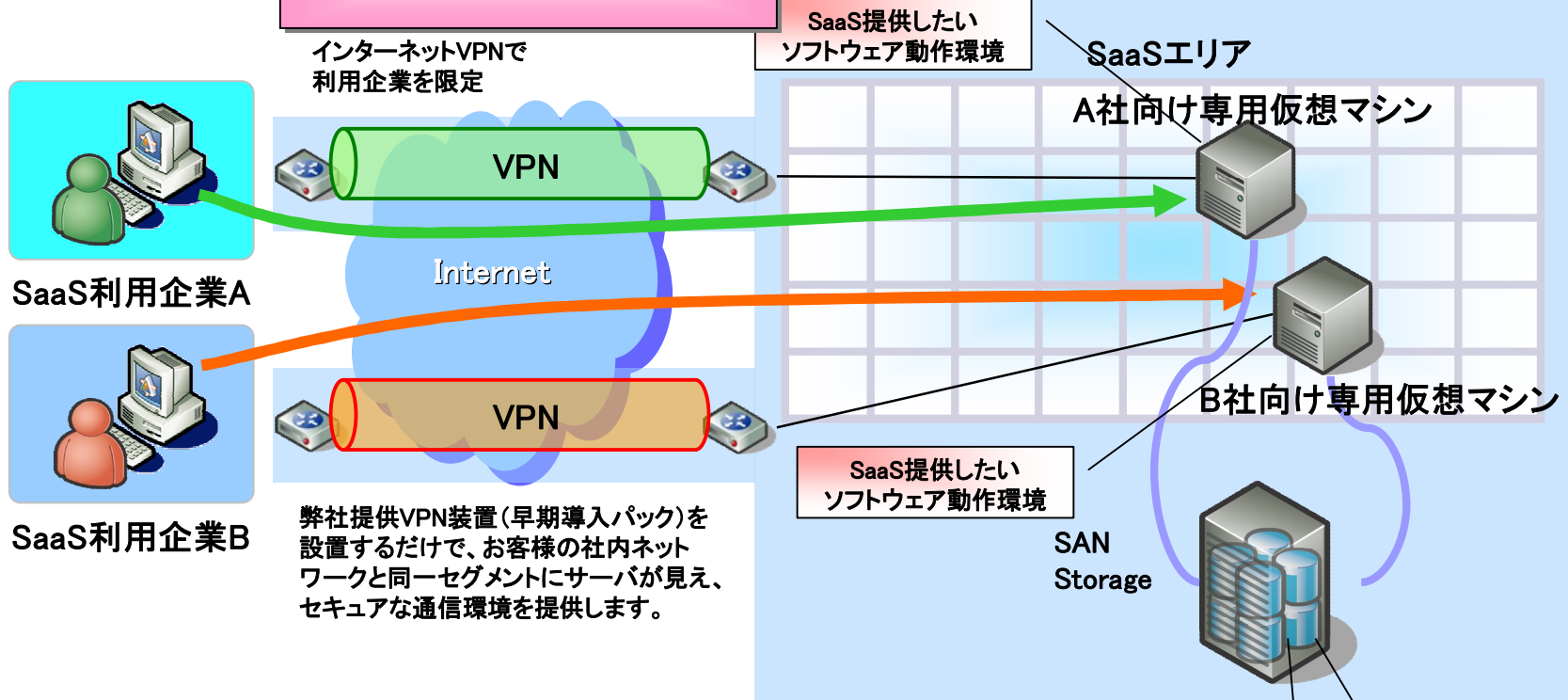
自前でSaaS用の施設を準備せずに、すぐにSaaSビジネス化が可能

システム概要

お客様毎にVMを分割
簡易SaaS提供可能

統制IT基盤提供サービス

売上げ増



単一企業向けのSaaSソフトウェアでも、仮想マシンを分けることで、容易にかつセキュアにマルチテナントでサービスのご提供が可能です。

OS,関連ミドルウェア、SaaS提供したいソフトウェアを設定したサーバのイメージを保管しておくことで、クローンニング(コピー)するだけで、すぐに環境の準備完了

2009/2/12

米国のランキング会社MSPmentor主催の**MSPベンダー世界トップ100 (The MSPmentor 100)**にて**当社が68位にランクイン**されました。日本企業では唯一のランクインとなります。

<http://www.mspmentor.net/top-100-msps/mspmentor-100-ranked-1-to-100-2008-2009/>

2009/2/19

SecureOnlineは、特定非営利活動法人ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム(ASPIC)が主催する**第3回ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009**にて、「**ASP・SaaS支援・ミドルウェア/ハードウェア分野グランプリ**」を受賞しました。

<http://www.aspicjapan.org/activity/project/index.html>



2009/5

SecureOnline在宅勤務サービスは、職場と自宅との往復などにかかる環境負荷を低減。**LCAで評価した事例では36%のCO2排出低減(*)**に貢献します。

(*) :システムのライフサイクル全体での環境負荷の低減量を「平成17年度情報通信技術(ICT)の環境効率評価ガイドライン」に基づいた手法「SI-LCA」で、評価しています。「SI-LCA」は日立製作所の登録商標です。



2009/6/15

SecureOnline在宅勤務サービスがMM総研の「**MM総研大賞2009**」(審査委員長:安田 浩 東京大学名誉教授)の「**話題賞**」を受賞しました。

<http://www.m2ri.jp/newsreleases/main.php?id=010120090615500>



出前クラウドサービス

NEW

SecureOnlineで実績のあるシステム構成と設定を
すぐにご利用可能な状態でお客様へ「レンタル」するサービスです。

SecureOnlineコンフィギュレーションの設定



※ラック図の構成はイメージです。

出前クラウドサービスとは

NEW

『社内クラウドを自社で運営したい！ + イニシャルを抑えたい！』

といったお客様の声にお答えします。



標準サービス

- ラック/ハードウェア機器一式 (サーバ、SANディスク装置、L3スイッチ、管理サーバなど)
- 機器ラッキング、ケーブリング (電源ケーブル、LANケーブル、FCケーブルなど)
- 機器設定
- 仮想化ソフト (VMware) インストール、設定
- 仮想マシン作成 (ヒアリングシートに基づくVM作成)
- 運用手順書
- ハードウェア遠隔保守 (日立電子サービスASSISTによる24時間監視)
- ハードウェア保守
- 仮想化ソフト問合せ受付
- 仮想化ソフト パッチ情報提供

オプションサービス (例)

- 常駐SEによる環境保守
- 仮想マシン遠隔保守
- バックアップ装置提供 (LTO装置などをラッキングして提供)
- 実サーバ提供 (仮想化対象としないサーバをラッキングして提供)

SecureOnline

での運用実績に基づく、
機器選定、設計、設定
=ノウハウを提供！

出前クラウドサービスのメリット

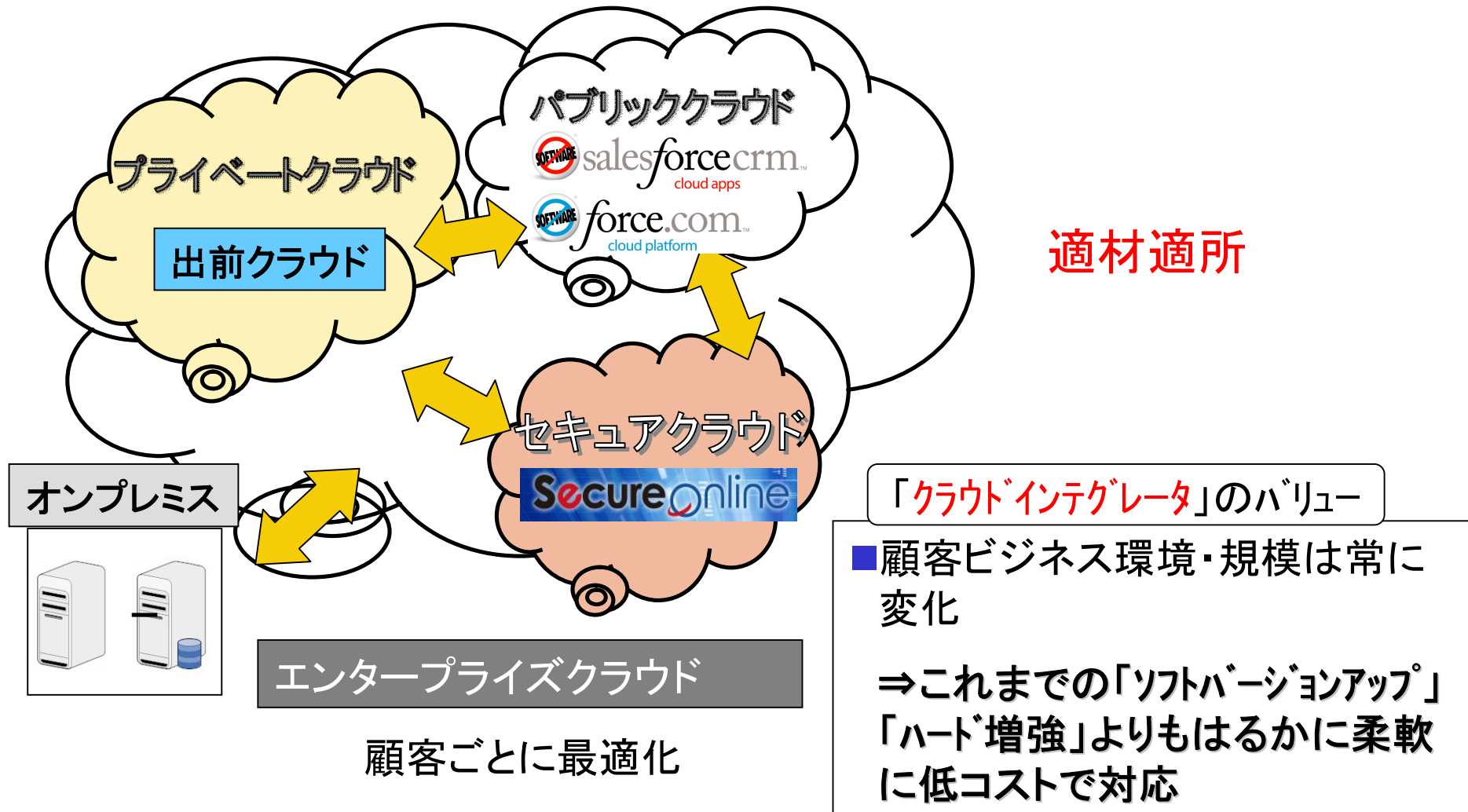


NEW

- システム構築工数の削減
- 安定したクラウド運営
- 自社専用のクラウド設備
 - セキュリティの確保
 - ハードウェアリソースの最適化
 - 自社の文化、ポリシー、体制の上での運用が可能
- 固定費の流動費化

当社の目標 = クラウドインテグレータ

顧客ニーズに合わせて複数クラウドを組み合わせた構築・運用を行う





お問い合わせは
日立ソフト「@Sales24」へ

電話による受付

(03)5479-8831 (受付時間：9:30～12:00・13:00～17:30)
(土日祝日および弊社休業日を除く)

メールによる受付

sales24@hitachisoft.jp

ホームページ

<http://hitachisoft.jp/>

※その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。